

# 知的財産を活用して地域社会に貢献!

## 水利調整機能付貯水タンクの開発・商品化支援

Case 2



吉田 典江（静岡県浜松市）  
特許情報活用支援アドバイザーの一言



本件は、特許情報の一般的な検索方法を指導するとともに、知的財産の重要性について説明をさせていただいた企業から、後日これまでの事業とは異なる分野で開発中の新商品の知的財産権について相談があり、支援をさせていただいた案件です。

支援先企業は、これまで特許とは縁がなかったとのことでしたので、特許制度の概要説明から、先行技術調査方法、出願戦略、明細書の検討等特許権取得に向けて総合的にサポートを行ないました。

特許出願に際しては、商品がシンプルな形態であるため、実用新案と特許のどちらで出願すべきか迷いがあったので、両制度のメリット・デメリットなどを説明した結果、権利期間が長くより強い権利である特許出願をすることとしました。

また、商品開発から商品の発表まで比較的短期間ではありましたが、精力的にサポートすることによって新商品発表前に無事特許出願を完了することができました。

